

# 世界遺産・国宝 姫路城 冬の特別公開



たいこやぐら

おびのやぐら

# 太鼓櫓・帯の櫓 特別公開

姫路城の大天守のふもと、備前丸は、かつて姫路城を築城した池田輝政の御殿があったところです。その備前丸の南東で、城の防御において射撃などを行う場所として帯曲輪が築かれました。今回は、普段は公開していない太鼓櫓と帯の櫓(一部)の内部をご覧ください。

## 令和2年(2020年)2月1日(土)~29日(土)

時間 / 9:00~16:30 (最終入城16:00 閉城17:00)

公開場所 / 姫路城太鼓櫓、帯の櫓

**観覧料無料** ※但し、姫路城の入城料は必要です

姫路城 入城記念書(御城印)

料金: 300円

販売所: 姫路城売店(姫路城出改札横)



### 太鼓櫓 初公開

江戸時代には、「への櫓」と呼ばれていました。出格子付きの窓がりの門前を見下ろす位置につけられ、同時に上山里曲輪から備前丸へ向かう通路への関門となりました。上山里曲輪東面に対する横矢ともなるカギ型の櫓です。

### 帯の櫓 一部公開

姫路城内で最も高い石垣の上に建つ櫓です。もともとは南側の長屋1棟だけだったものがある時期に北側と東側にもカギ型に櫓を増設したため、平面はコの字型になっています。南側の長屋は数寄屋風の建物で、全3室あり、西室に簀の子天井があり茶室として利用されることがあったとみられます。



# 太鼓櫓 たいこら やぐら ・ 帯の櫓 おびの ら 特別公開

太鼓櫓



帯の櫓



## 入城記念書(御城印)

姫路城特別公開にあわせ、入城記念書(御城印)が販売されます。入城記念書に使用される文字は、姫路城城主である酒井忠以(さかいただぎね)の文字を使用しており、落款(らっかん)は忠以が描いた絵に捺印されていたものを使用しています。また、背景のデザインには、忠以に仕えた家老である河合寸翁(かわいすんのう)による特産品奨励策で有名になった高砂(たかさご)染めのモチーフを使用しています。是非、入城記念にご購入ください。

料金: 300円(1枚)  
販売所: 姫路城売店(姫路城出改札横)



帯の櫓の障子に使用している紙は、姫路市民の手ですいたものです。材料として使用した雁皮(がんび)は、市内にある書写山で採取。現代の名工・表具師梅岡一晴氏の指導の下、市民約40人で張りました。見学の際は、障子にもぜひご注目ください。

## 姫路城便覧

姫路城の情報をリアルタイムにお届けしています。  
姫路城への旅行計画にどうぞご活用ください。

ホームページ <https://www.himejicastle.jp/>



## 【ご利用案内】

	区分	個人料金(30人未満)	団体料金(30人以上)	備考
入城料	大人	1,000円	800円	18歳以上の方
	小人	300円	240円	小学生・中学生・高校生

開城時間/9:00~17:00 ※最終入城 16:00

※小学校就学前は、無料です  
※18歳で高校生の場合は、小人料金が適用となります  
※小学校・中学校・高校の教育旅行については、生徒15人につき引率教師1人は無料となります  
※姫路城・好古園共通券 大人/1,050円 小人/360円